

大野城市の行政改革（福岡県大野城市）

【取組概要】

バランススコアカードを用いた多角的な評価・診断を行う独自の統合型行政評価システムとして構築。市民満足度の高い行政サービスの提供及び効率的な行政運営を目指す。

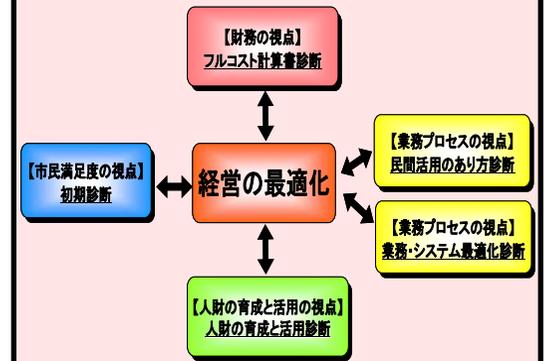
人口 96,272人

担当部署 自治経営課

【取組みの効果】

- ・約2億8千万円のコスト削減。
- ・行政サービスに対する市民満足度の向上
(H20:68% → H24:81%)
- ・システムオープン化、総合窓口・まどかフロアの開設

大野城市公共サービスDOCK事業



【他団体へのアドバイス】

質の高い公共サービスの提供及び業務効率化を推進するためには、職員の業務改善の意識が必然的に高められるようなスキームが必要である。

【創意・工夫した点】

- ・評価結果を予算に反映。
- ・予算決算・総合計画・事務分掌、すべてがリンクするように行政経営の『見える化』を推進。
- ・第三者評価(学識経験者等及び公募市民)の活用。

フルコスト計算書診断の様子

